



<問い合わせ先>

北海道運輸局 観光部 次長 水口

観光企画課 実重、田中、岡本

TEL : 011-290-2700

令和 2 年 3 月 19 日

北海道運輸局

## 北海道における宿泊旅行統計調査をまとめました。

### (令和元年10-12月期(暫定値)及び令和元年・年間値(暫定値))

・北海道運輸局では、北海道における宿泊旅行者の動向や実態を把握することを目的として、観光庁が実施している「宿泊旅行統計調査」をもとに、北海道における宿泊旅行統計調査をまとめ、あわせて全国との比較をとりまとめております。

・観光庁が実施した調査結果については、以下のURLからご覧下さい。(観光庁HP)

(<http://www.mlit.go.jp/kankocho/siryou/toukei/shukuhakutoukei.html>)

#### I. 令和元年10-12月期(暫定値)の集計結果

#### II. 令和元年・年間値(暫定値)の集計結果

##### 【令和元年10-12月期の主な特徴】

###### 【北海道における延べ宿泊者数】

838万人泊。前年比+0.1%、前々年比+2.1%。都道府県別順位では全国第3位。(前年同期は第3位)  
10~12月期としては、調査開始(※注)以来、過去最高となった。

###### 【外国人延べ宿泊者数】

192万人泊。前年比-2.0%、前々年比-0.8%。都道府県別順位では全国第4位。(前年同期は第3位)

###### 【国籍(出身地)別外国人延べ宿泊者数順位】(括弧内は外国人延べ宿泊者数全体に占める割合)

第1位が10~12月期において4年連続で中国(28.7%)、第2位が台湾(17.2%)、第3位が香港(10.7%)。

##### 【令和元年・年間値の主な特徴】

###### 【北海道における延べ宿泊者数】

3,688万人泊。前年比+4.5%、前々年比+3.7%。都道府県別順位では全国第3位。(前年同期は第3位)  
調査開始(※注)以来、過去最高となった。

###### 【外国人延べ宿泊者数】

856万人泊。前年比+2.7%、前々年比+11.1%。都道府県別順位では全国第3位。(前年同期は第3位)  
調査開始(※注)以来、過去最高となった。

###### 【国籍(出身地)別外国人延べ宿泊者数順位】(括弧内は外国人延べ宿泊者数全体に占める割合)

第1位が中国(27.3%)、第2位が台湾(17.8%)、第3位が韓国(14.2%)。

(※注) 調査開始とは、平成22年の調査対象変更以降。変更内容については、最終ページ参照。

# I. 令和元年10-12月期の集計結果

## 1. 延べ宿泊者数（令和元年10-12月）

### 【延べ宿泊者数】

全国は1億3,203万人泊、北海道は838万人泊（全国の6.4%）。

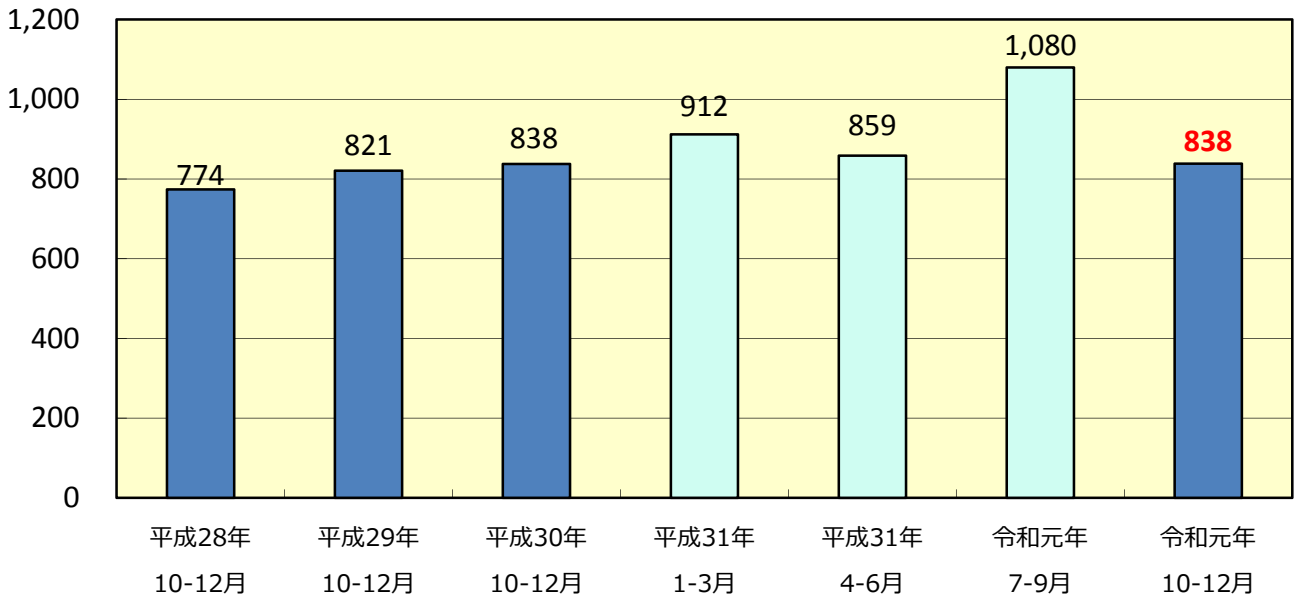
### 【延べ宿泊者数の前年等比較】

全国は平成30年同期比-2.8%、平成29年同期比+4.7%、平成28年同期比+7.9%であり、北海道は平成30年同期比+0.1%、平成29年同期比+2.1%、平成28年同期比+8.3%と、全国は前年を下回ったが、北海道は前年並の結果となった。

### 【都道府県別延べ宿泊者数】

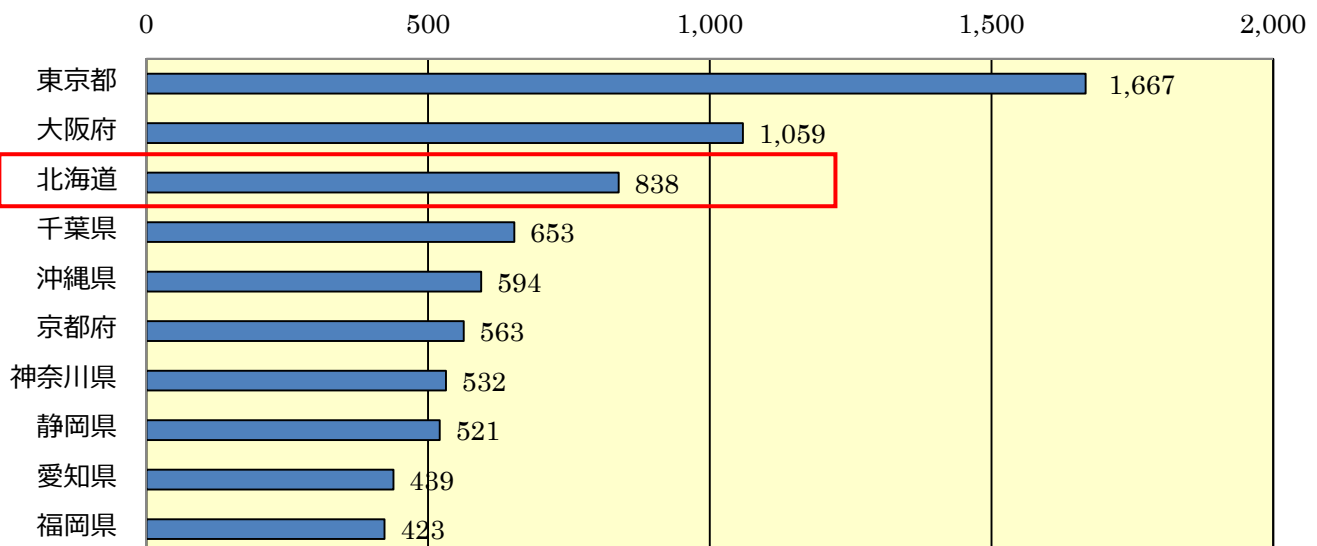
第1位は東京都、第2位は大阪府、第3位は北海道（前年同期は第3位）

### 延べ宿泊者数の推移



### 都道府県別延べ宿泊者数（上位10位）

（単位：万人泊）



## 2. 外国人延べ宿泊者数

### 【外国人延べ宿泊者数】

全国は2,445万人泊、北海道は192万人泊（全国の7.9%）。

### 【外国人延べ宿泊者数の前年等比較】

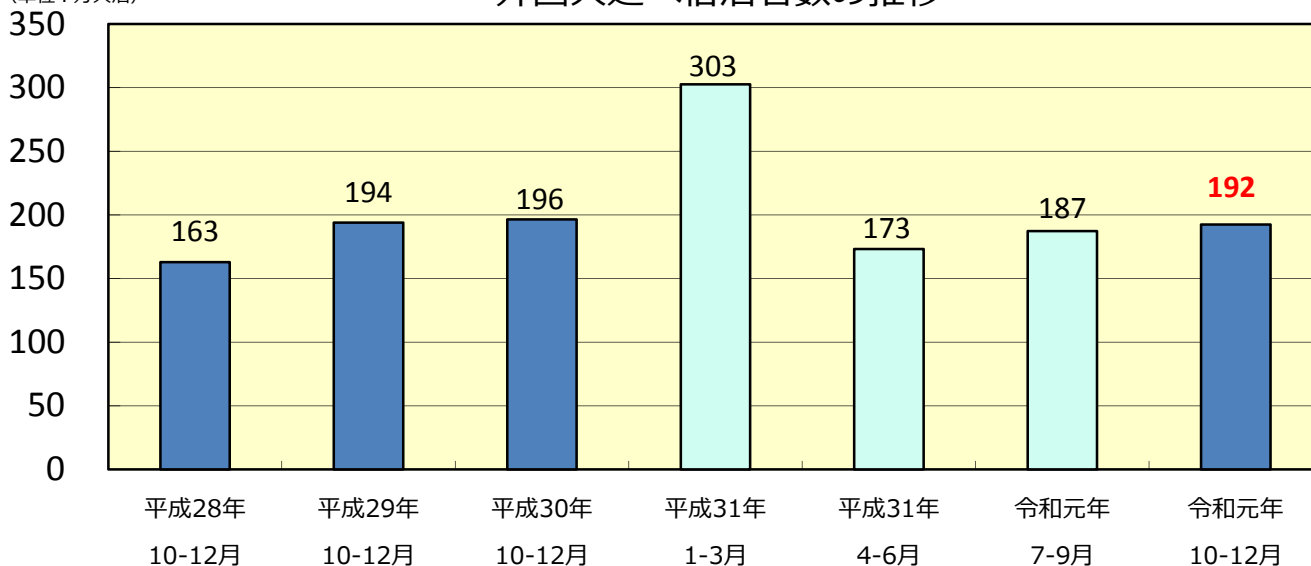
全国は平成30年同期比+2.2%、平成29年同期比+19.4%、平成28年同期比+47.1%であり、北海道は平成30年同期比-2.0%、平成29年同期比-0.8%、平成28年同期比+18.1%と、全国は前年を上回り、北海道は韓国人旅行者の減少が大きく、前年を下回る結果となった。

### 【都道府県別外国人延べ宿泊者数】

第1位は東京都、第2位は大阪府、第3位は京都府、第4位は北海道。（前年同期は第3位）

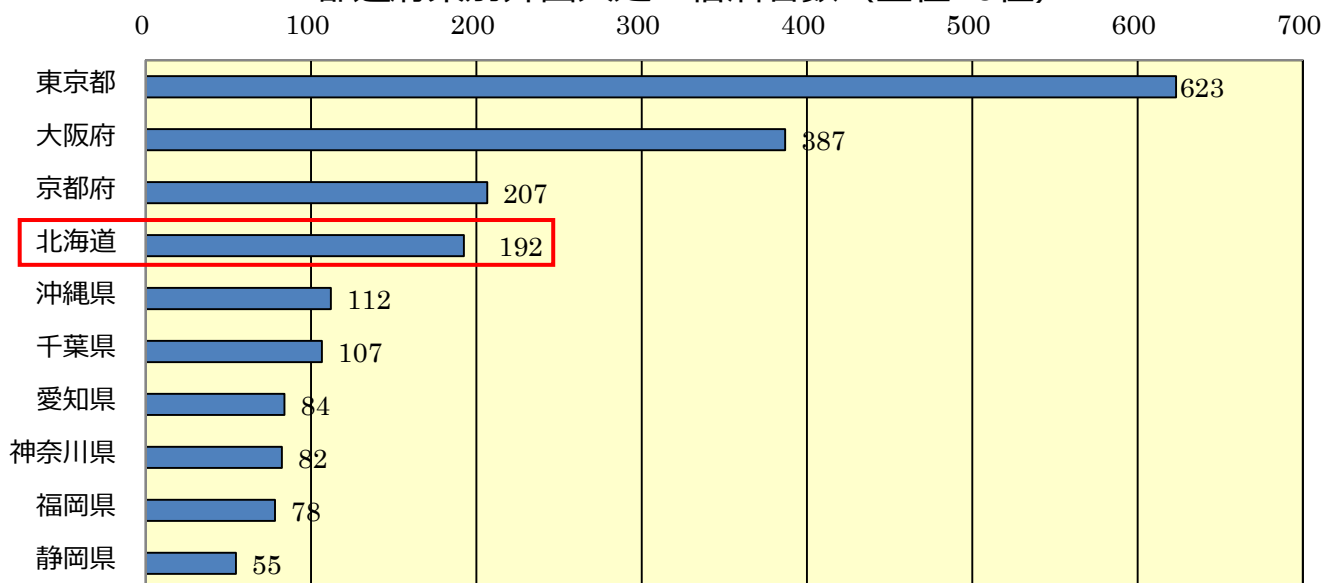
（単位：万人泊）

### 外国人延べ宿泊者数の推移



### 都道府県別外国人延べ宿泊者数（上位10位）

（単位：万人泊）

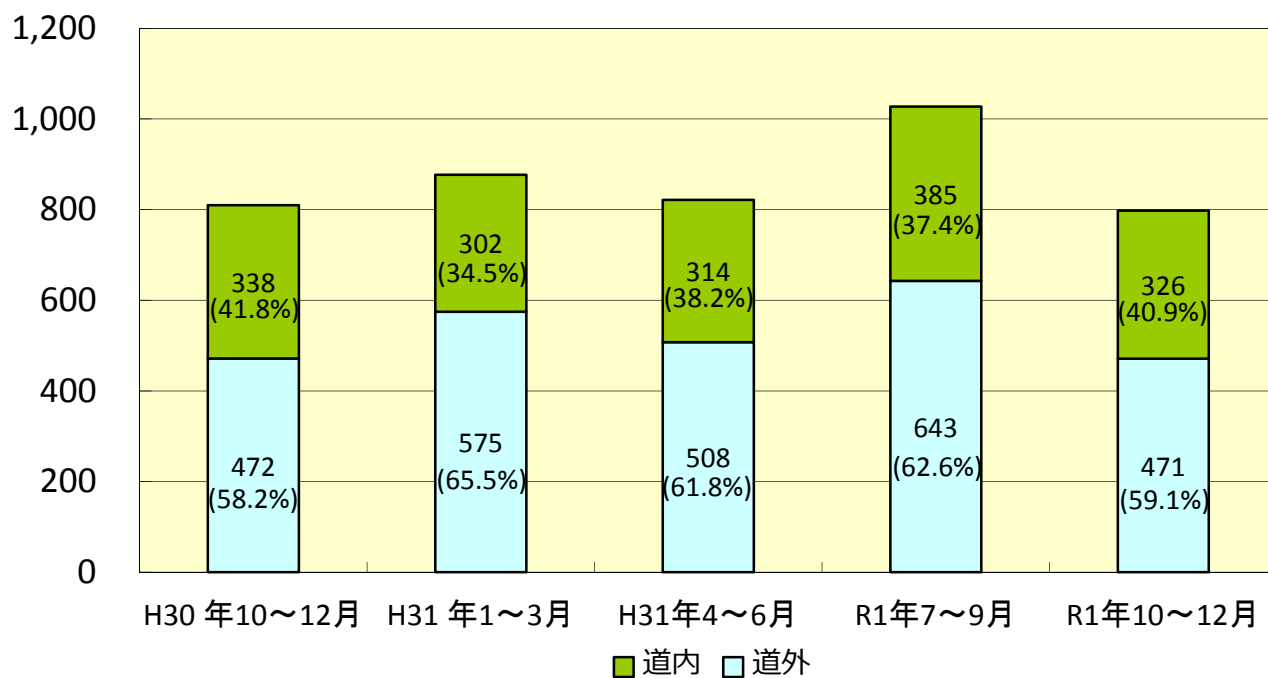


### 3. 道内・道外からの延べ宿泊者数

- ・道内の延べ宿泊者数は326万人泊、道外（外国人を含む。）からの延べ宿泊者数は471万人泊。
- ・道内及び道外の延べ宿泊者数の割合は、道内40.9%、道外59.1%となっている。
- ・前年同期と比べて、道内からの延べ宿泊者数の割合が-3.6%、道外からの延べ宿泊者数の割合が-0.2%下回る結果となった。

#### 道内、道外からの延べ宿泊者数の推移

(単位：万人泊)

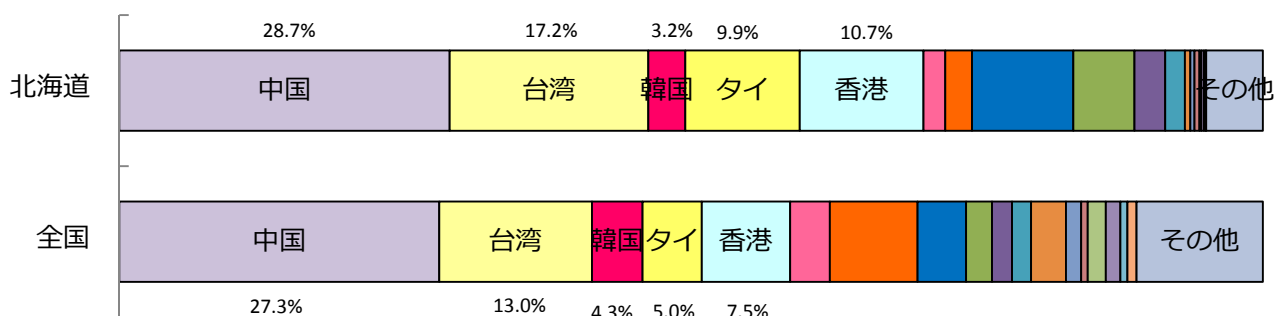


注：グラフの数値は居住地不詳者を除いているため、延べ宿泊者数の合計の数値と一致しない。

#### 4. 北海道における国籍（出身地）別延べ宿泊者数

・国籍（出身地）別延べ宿泊者数は、10~12月期において3年連続第3位となっていた韓国が日韓関係悪化の影響により第7位まで落ち込む結果となった。第1位が中国、第2位が台湾、第3位が香港となり、上位3位で全体の56.7%を占めている。アジア地域からの合計では全体の88.7%を占めている。前年比較で大きく増加しているタイやフィリピンについては、直行便の新規就航があった。

順位	国籍 (出身地)	北海道		全国	30年		29年 同期比	28年 同期比
		(人泊)	シェア	シェア	同期比	シェア		
1	中国	519,470	28.7%	27.3%	17.8%	24.1%	21.0%	64.7%
2	台湾	312,110	17.2%	13.0%	-4.5%	17.8%	-18.2%	0.1%
3	香港	194,550	10.7%	7.5%	2.2%	10.4%	-7.1%	3.8%
4	タイ	180,000	9.9%	5.0%	40.8%	7.0%	100.4%	71.1%
5	シンガポール	159,320	8.8%	4.1%	7.3%	8.1%	10.5%	17.5%
6	マレーシア	96,210	5.3%	2.2%	-4.1%	5.5%	2.6%	-7.0%
7	韓国	58,130	3.2%	4.3%	-77.7%	14.2%	-81.3%	-73.1%
8	インドネシア	48,180	2.7%	1.7%	12.4%	2.3%	49.7%	84.4%
9	アメリカ	42,070	2.3%	7.5%	18.7%	1.9%	46.2%	53.7%
10	オーストラリア	34,140	1.9%	3.4%	15.8%	1.6%	55.1%	94.4%
11	フィリピン	30,940	1.7%	1.6%	70.9%	1.0%	150.9%	239.6%
12	イギリス	8,590	0.5%	3.0%	24.9%	0.4%	49.1%	85.1%
13	ロシア	7,820	0.4%	0.6%	23.7%	0.3%	25.1%	93.1%
14	カナダ	6,650	0.4%	1.3%	11.6%	0.3%	15.9%	32.7%
15	ベトナム	4,550	0.3%	0.9%	97.8%	0.1%	46.8%	152.8%
16	ドイツ	3,990	0.2%	1.2%	96.6%	0.1%	155.8%	95.6%
17	フランス	2,870	0.2%	1.5%	10.0%	0.1%	65.9%	163.3%
18	インド	2,740	0.2%	0.6%	33.7%	0.1%	20.7%	124.6%
19	スペイン	1,120	0.1%	0.7%	83.6%	0.0%	211.1%	261.3%
20	イタリア	900	0.0%	0.8%	-3.2%	0.1%	57.9%	83.7%
	国籍不詳	6,600	0.4%	1.0%				
	その他	89,000	4.9%	10.8%	17.0%	4.2%	21.5%	63.5%
	合計	1,809,950	100.0%	100.0%	-1.2%	100.0%	-2.8%	15.7%

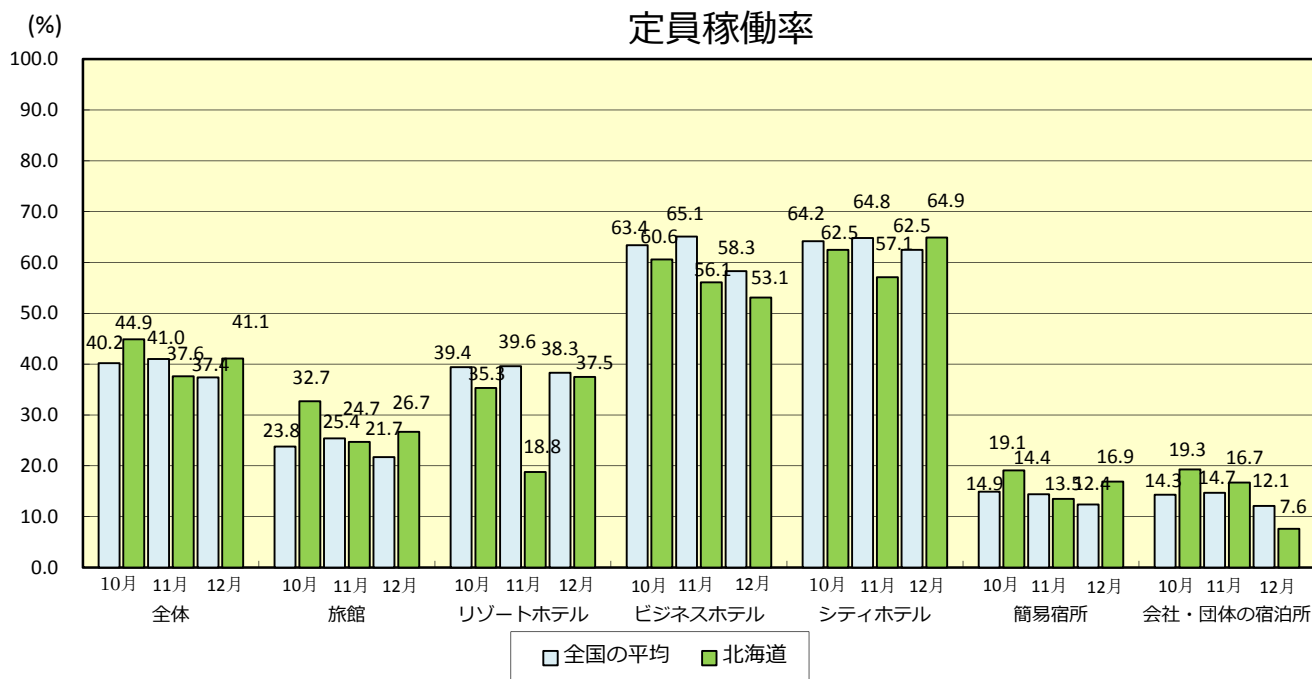


※国籍（出身地）別に関する項目については、従業者数10人以上の施設に対する調査から集計している。

## 5. 定員稼働率及び客室稼働率

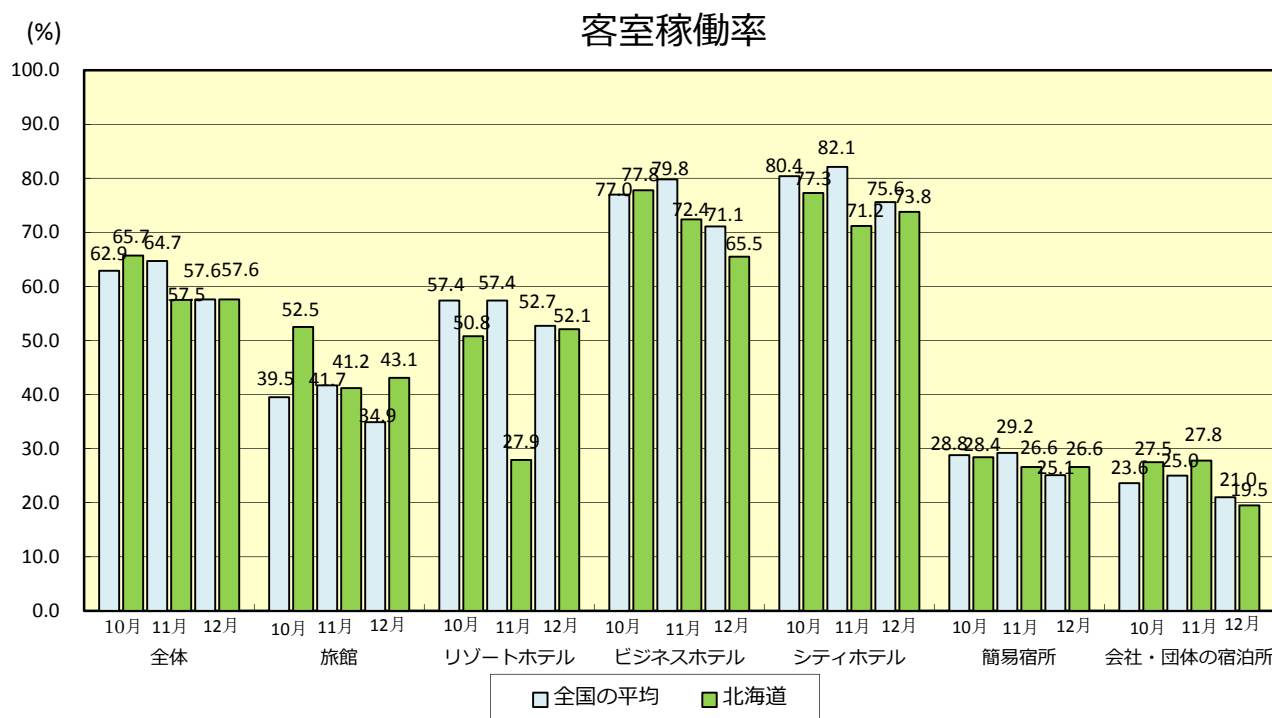
### 【定員稼働率】

- ・北海道の定員稼働率（全体）は10月と12月において全国平均を上回る結果となった。
- ・定員稼働率の施設タイプ別では、リゾートホテルとビジネスホテルが10～12月において全国平均を下回る結果となった。特に、冬期営業に向けたメンテナンス期間のため11月のリゾートホテルでは大幅に下回った。



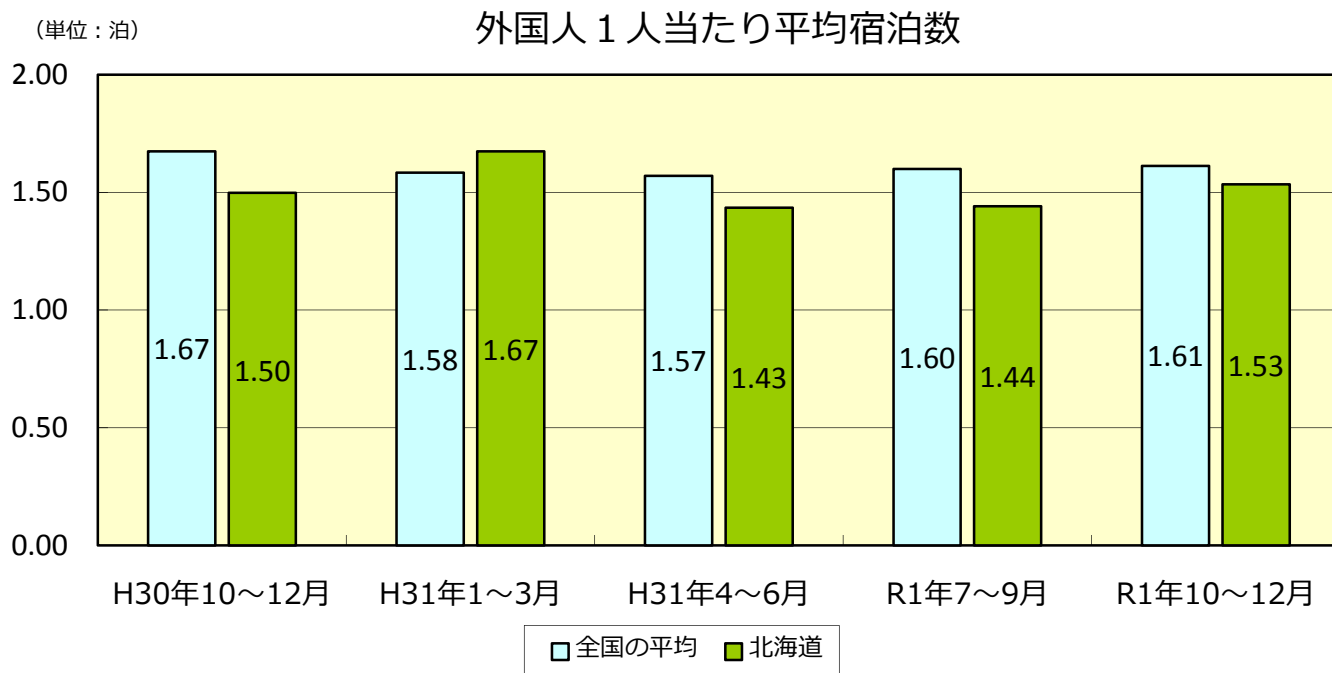
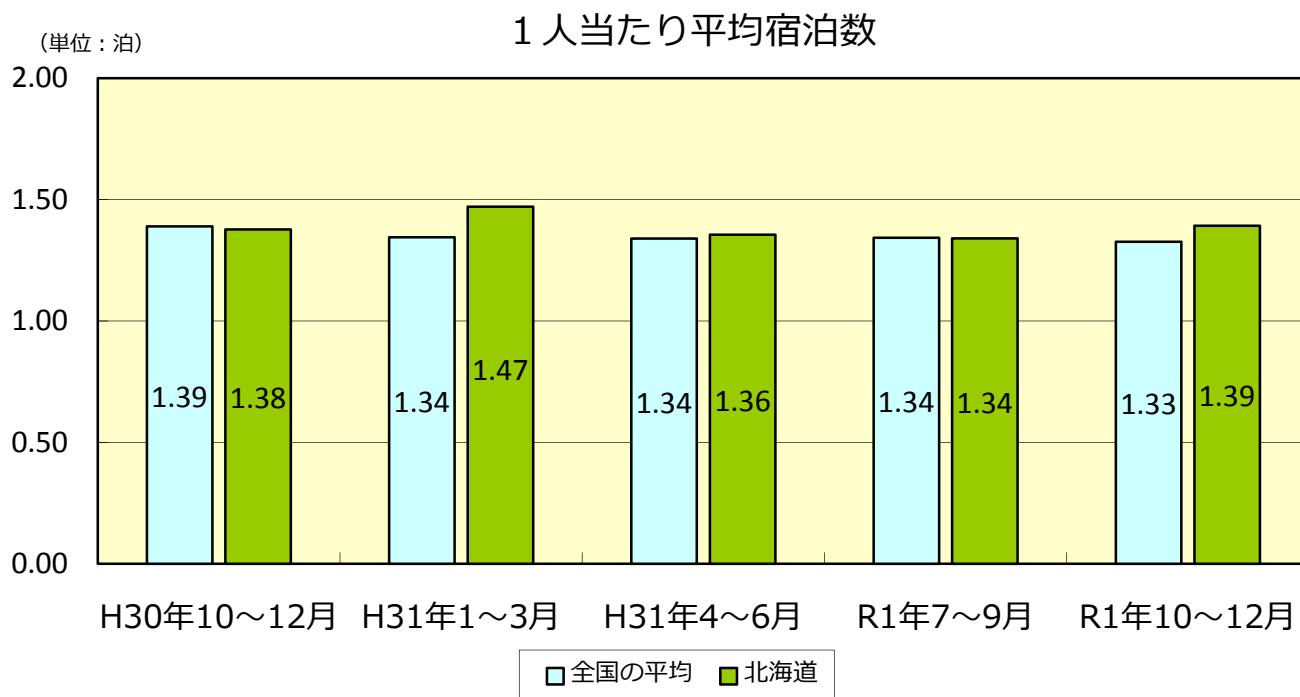
### 【客室稼働率】

- ・北海道の客室稼働率（全体）は10月のみ全国平均を上回る結果となった。
- ・客室稼働率の施設タイプ別では、10月に旅館が全国平均を大きく上回る一方で、11月のリゾートホテルでは冬期営業に向けたメンテナンス期間のため、全国平均を大幅に下回る結果となった。



## 6. 同一施設における1人当たり平均宿泊数

- ・同一施設における1人当たり平均宿泊数は、全国平均1.33泊、北海道1.39泊となった。前年同期と比較すると全国は0.06ポイント減少、北海道は0.01ポイント増加となった。
- ・同一施設における外国人1人当たり平均宿泊数は、全国平均1.61泊、北海道1.53泊となった。前年同期と比較すると、全国は0.06ポイント減少、北海道は0.03ポイント増加となった。



## II. 平成31年年間値の集計結果

### 1. 延べ宿泊者数

#### 【延べ宿泊者数】

全国は5億4324万人泊、北海道は3,688万人泊（全国の6.8%）。

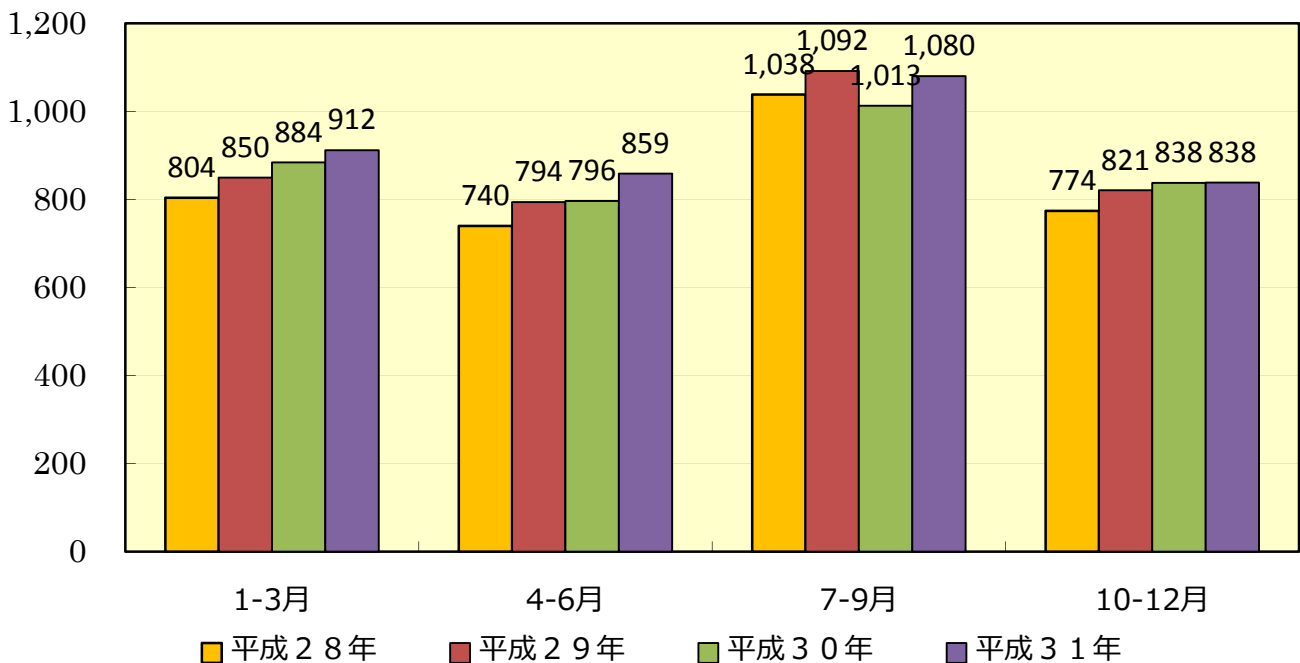
#### 【延べ宿泊者数の前年等比較】

全国は平成30年比+1.0%、平成29年比+6.6%、平成28年比+10.3%であり、北海道は平成30年比+4.5%、平成29年比+3.7%、平成28年比+9.9%と、全国、北海道ともに前年を上回る結果となった。

#### 【都道府県別延べ宿泊者数】

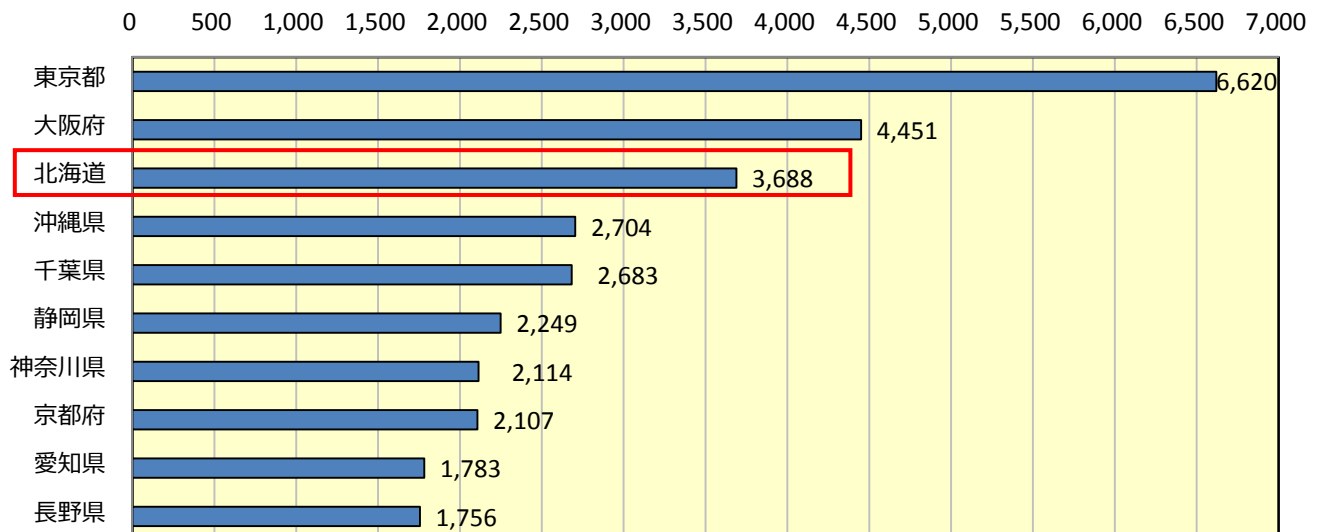
第1位は東京都、第2位は大阪府、第3位は北海道（前年同期は第3位）

### 北海道における延べ宿泊者数の推移



### 都道府県別延べ宿泊者数（上位10位）

（単位：万人泊）





## 2. 外国人延べ宿泊者数

### [外国人延べ宿泊者数]

全国は1億143万人泊、北海道は856万人泊（全国の8.4%）。

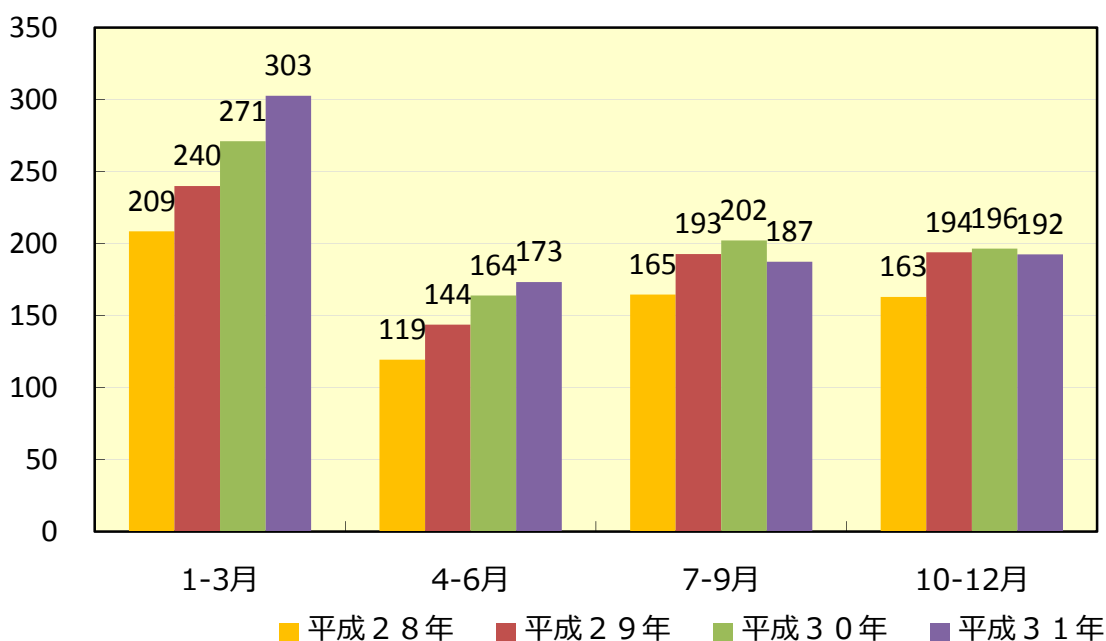
### [外国人延べ宿泊者数の前年等比較]

全国は平成30年比+7.6%、平成29年比+27.3%、平成28年比+46.2%であり、北海道は平成30年比+2.7%、平成29年比+11.1%、平成28年比+30.6%と、全国、北海道ともに前年を上回る結果となった。

### [都道府県別外国人延べ宿泊者数]

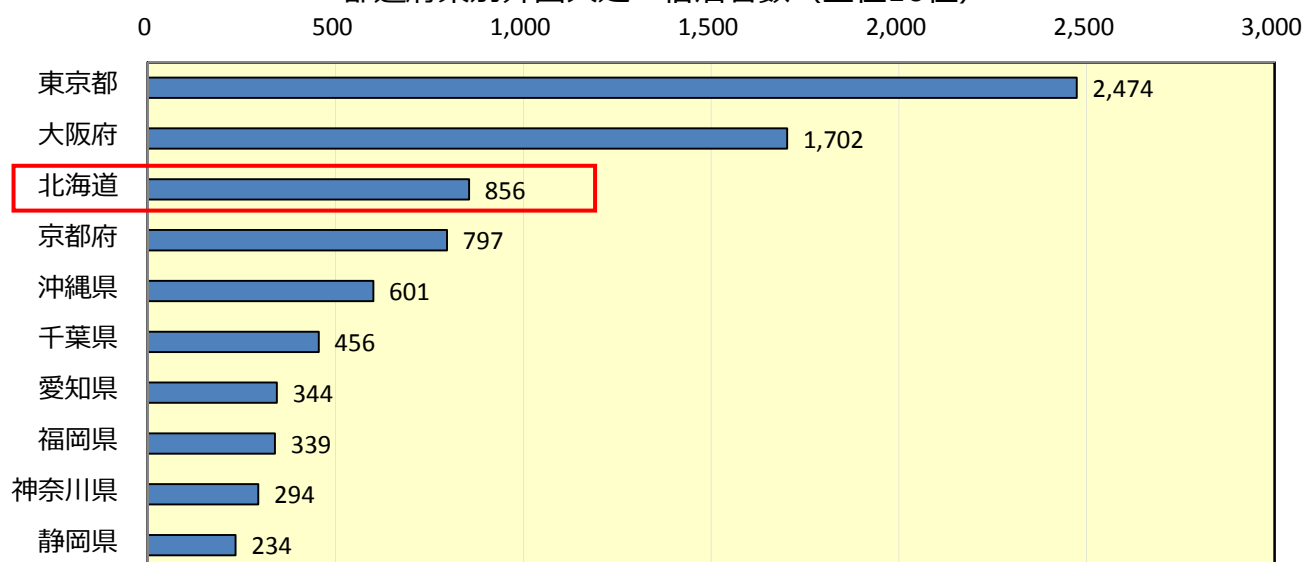
第1位は東京都、第2位は大阪府、第3位は北海道。（前年同期は第3位）

(単位：万人泊) 北海道における外国人延べ宿泊者数の推移



都道府県別外国人延べ宿泊者数（上位10位）

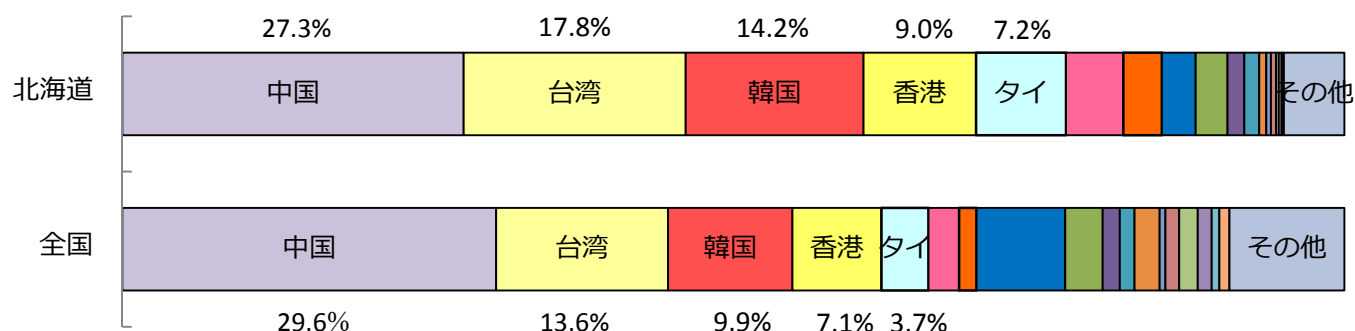
(単位：万人泊)



### 3. 北海道における国籍（出身地）別延べ宿泊者数

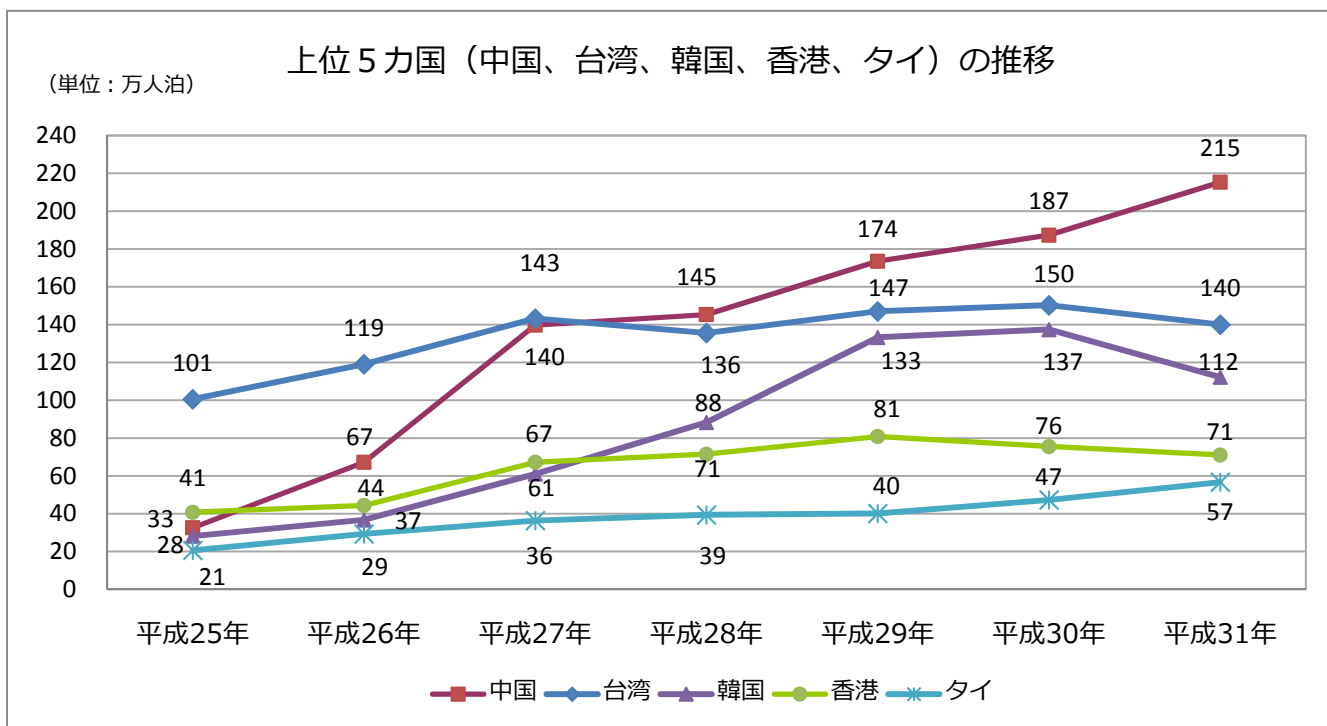
- ・国籍（出身地）別延べ宿泊者数は、上位3位で全体の59.4%を占めている。アジア地域からの合計では全体の86.1%を占めている。
- ・台湾のエバー航空のストライキ、韓国との関係悪化や香港でのデモ本格化などの影響により、北海道において宿泊者数上位の国が減少する結果となった。一方でその他の国の伸びもあり、全体では8.4%の増加となった。

順位	国籍 (出身地)	北海道		前年 同期比	前々年 同期比
		(人泊)	シェア		
1	中国	2,153,050	27.3%	14.9%	24.1%
2	台湾	1,400,430	17.8%	-6.8%	-4.8%
3	韓国	1,122,100	14.2%	-18.3%	-15.8%
4	香港	710,580	9.0%	-5.9%	-12.1%
5	タイ	567,190	7.2%	19.8%	41.4%
6	シンガポール	361,090	4.6%	7.9%	3.4%
7	マレーシア	243,690	3.1%	-6.2%	-9.4%
8	アメリカ	212,800	2.7%	30.0%	39.8%
9	オーストラリア	201,360	2.6%	42.1%	36.1%
10	インドネシア	106,070	1.3%	2.4%	25.8%
11	フィリピン	94,220	1.2%	81.7%	112.6%
12	イギリス	44,700	0.6%	52.7%	75.1%
13	カナダ	29,300	0.4%	23.2%	20.5%
14	ロシア	31,440	0.4%	29.3%	36.5%
15	ドイツ	17,320	0.2%	45.1%	75.5%
16	フランス	13,980	0.2%	-0.4%	27.8%
17	ベトナム	18,170	0.2%	66.1%	44.2%
18	インド	8,670	0.1%	20.1%	14.7%
19	イタリア	5,650	0.1%	5.4%	30.2%
20	スペイン	5,330	0.1%	66.6%	95.2%
	その他	381,710	4.8%	24.5%	63.5%
	国籍不詳	148,830	1.9%		
	合計	7,877,680	100.0%	8.4%	27.8%

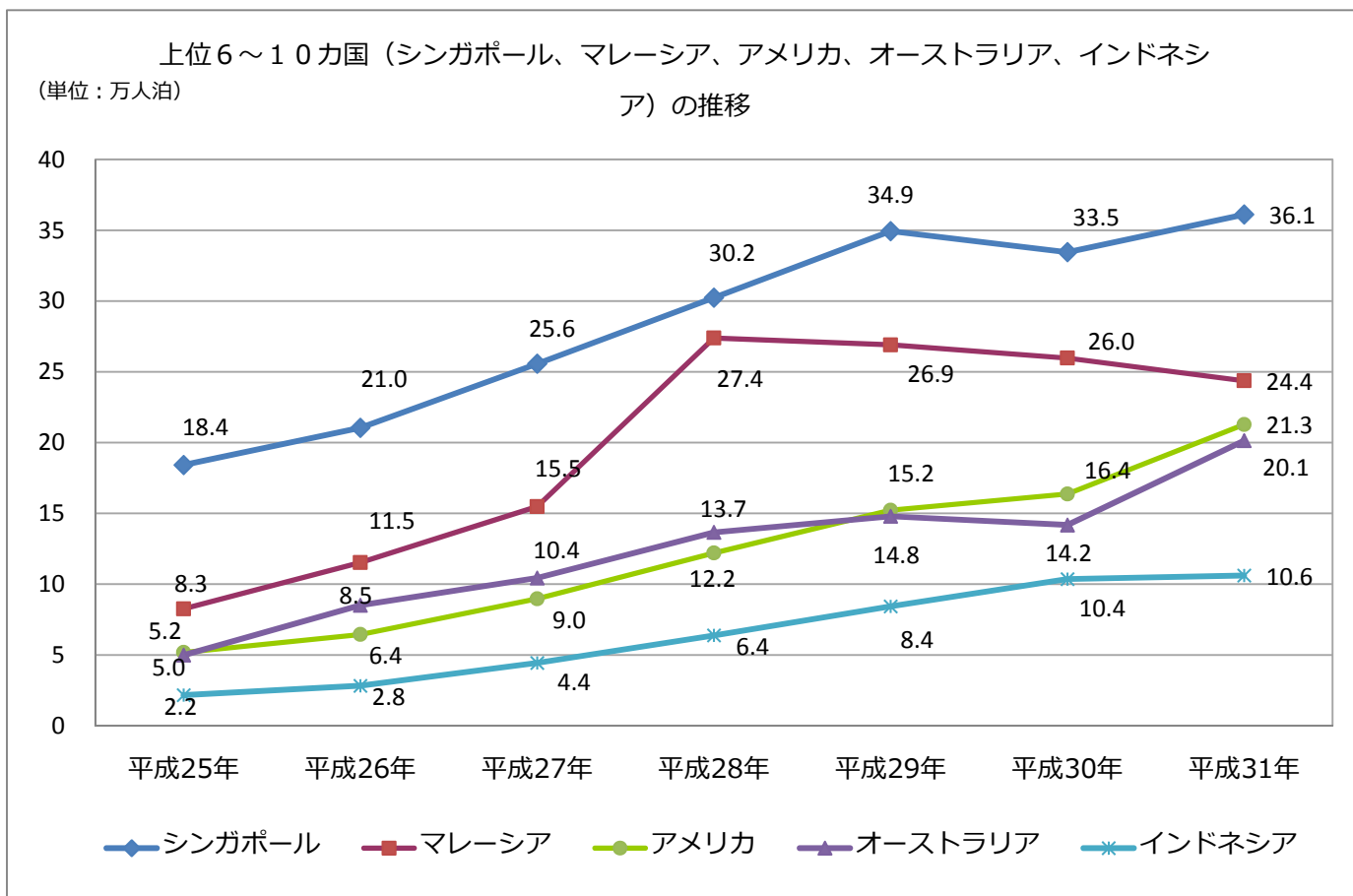


※国籍（出身地）別に関する項目については、従業者数10人以上の施設に対する調査から集計している。

#### 4. 北海道における国籍（出身地）別延べ宿泊者数の推移



※国籍（出身地）別延べ宿泊者数の合計値は、国籍（出身地）不詳を含んでいる。



# 宿泊旅行統計調査の活用における留意点

平成22年第2四半期(4~6月調査)から、従業員数10人未満の施設も調査対象となりました。

調査結果をご活用の際はご注意ください。

## ● 遡及推計(確定値)とは

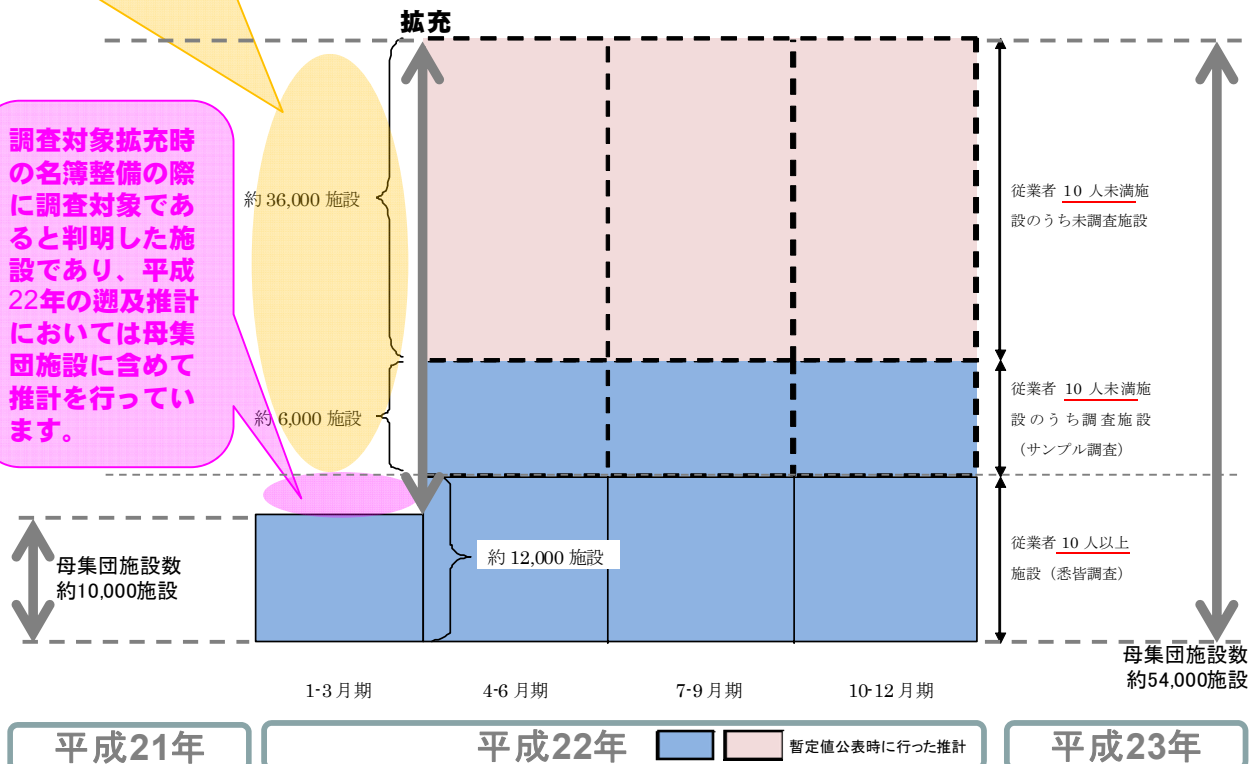
・1月1日現在の施設数を母集団施設数として1年間固定させ推計を行う四半期毎公表の暫定値とは違い、月毎の開業・廃業等を反映させた月毎の母集団施設数を基に推計を行ったものが遡及推計(確定値)です。

## ● 平成22年遡及推計の特徴

・平成22年第2四半期調査より調査対象を拡充しており、基本とする母集団施設数は拡充後の第2四半期のものです。また、第1四半期には調査対象外であった従業員数10人未満の宿泊施設等についての数値は一部参考値以外は推計を行っていません。経年比較等する場合には、従業員区分等にご注意下さい。

## 遡及推計概要図

遡及推計においても推計を行っていません。



## 調査対象拡充の概要

### 1. 平成22年第1四半期以前の調査

- (1) 調査対象施設:平成16年度事業所・企業データベース(総務省)を基に、国土交通省観光庁で補正を加えた名簿から抽出した、全国の従業員数10人以上のホテル、旅館、簡易宿所の宿泊施設
- (2) 集計結果:全国の従業員数10人以上の宿泊施設における延べ宿泊者数等の推計値

### 2. 平成22年第2四半期以降の調査

- (1) 調査対象施設:統計法第27条に規定する事業所母集団データベース(総務省)を基に、国土交通省観光庁で補正を加えた名簿から抽出した、全国のホテル、旅館、簡易宿所、会社・団体の宿泊所などの宿泊施設

調査施設については、従業員数に応じて以下のとおり

- 従業員数10以上の事業所 : 全数(悉皆)調査
- 従業員数5人~9人の事業所 : 1/3を無作為に抽出してサンプル調査
- 従業員数0人~4人の事業所 : 1/9を無作為に抽出してサンプル調査

- (2) 集計結果:全国のすべての宿泊施設における延べ宿泊者数等の推計値